

【9月7日（月）放送朝礼の話】

皆さん、おはようございます。昨夜は、台風10号の影響で皆さんが登校してくる時間に、大雨と強風が重なったら、安全に登校できないので、とても心配をしていました。しかし今朝は、ちょうど雲の切れ間にはまり、風は強かったもののほとんど雨が降らない時間だったので、無事に登校することができて、先生はほっとしています。

先週の台風9号も今回の10号も、とても大きな台風で、特に沖縄や九州には甚大な被害が出ています。特に台風は、「地球温暖化」の影響を受け、海水の温度が上昇して、年々大きさが増し、被害の大きさも「50年に一度」とか「100年に一度」等という表現で伝えられています。しかし、実際には50年に一度のはずの大雨などが、毎年のように降り大きな被害をもたらしています。

また、以前にもお伝えしましたが、地球全体が地震の活動期に入り、日本でも大雨や台風の被害を受けている同じ時期に、地震も頻発しています。先生が読んだ本には日本のことを「災害大国 日本」という表現がされていました。さらに、今は新型コロナウイルスの感染も重なり、とても大変な状況になっています。

しかし、このような状況を嘆いていても仕方ありません。「自分の命を守るために、自分たちに何ができるのか」を一人一人が真剣に考えていかなければなりません。「1年生だから、よく分からない」「まだ小学生だから、どうしていいか分からない」と思う人もいるでしょう。でも、そんなことを言っていたら、自分の命は守れません。例えば日頃行っている避難訓練の「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）」は、どんな災害においても、共通する大切な守るべき行動様式でしょうし、どこにいたとしても地震が来た時の取るべき行動は同じです。また、被害を受けた時、水道や電気、ガスなどのライフラインが止まってしまったときのために、避難用品を準備することも大切です。お父さんやお母さんなどの大人任せにはいけません。自分で本やインターネットで調べてみましょう。そうすると、何が必要なのか、いつも家庭にあるもので代用できることもあるなど、様々なことを知ることができます。そうすれば、家で避難用品を揃えるときに、自分に必要なものを入れることができるし、家族とも災害に向けていろいろな話が出来ます。

今週のどこかで、それぞれのお家で、家や学校以外で地震や豪雨被害に遭ったときに、どこに行けば家族に会えるか「緊急避難場所」の確認を家族全員で確認してください。そして、お家や自分が寝ている場所に背の高い家具がないか、あればきちんと固定してあるかなど、家の中に危険がないかをみんなで確認してください。最後に、週末に避難用品の準備を家族みんなでしてみてください。「自分の命は自分で守る」という目標に向かって、実際に行動を起こしてみましょう。

今日の下校も、まだまだ強風や突然の大雨の心配があります。みんなで安全に帰宅できるように、協力し合って下校してください。

校長先生のお話を終わります。一週間、元気に仲良く過ごしましょう。